



2020年10月26日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース 25号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

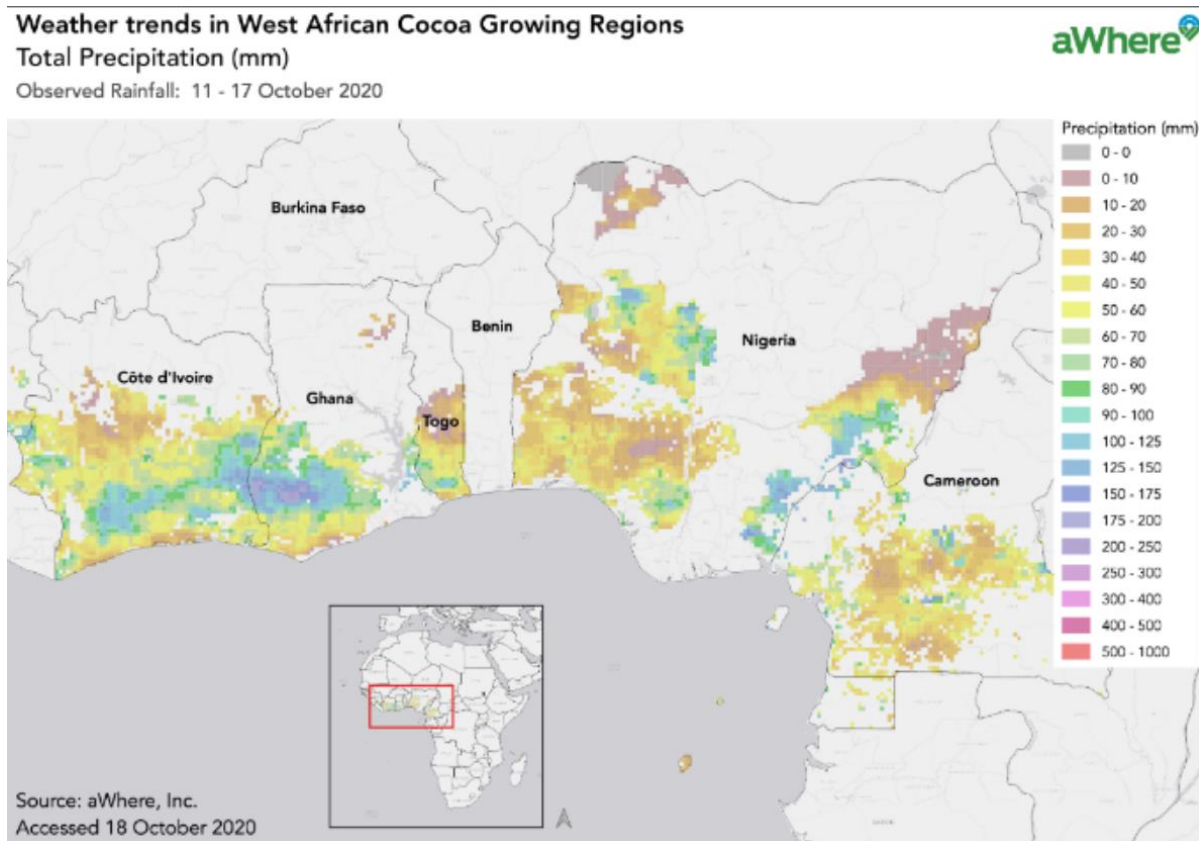
### 1. アフリカカカオ生育状況：選挙前にコートジボワールの天候は良好でカカオに好影響(10/20)

先週のコートジボワールとガーナのカカオ農園は理想的な天候の良い影響を受けカカオの生育は順調だが、懸念事項として、来たるコートジボワール大統領選挙の影響で豆の輸送に影響を及ぼし始めた。

生産者は全般的に最近の降雨量と日照りの量には満足している様子。それでも、10月31日の大統領選挙を前にサンペドロ港とアビジャン港への繋がる道路のいくつかが大木で封鎖されており、収穫後のカカオ豆の移動が遅くなっていると、ラコタの中央西部の町のカカオの協同組合メンバーは述べた。

ガーナの生産者も現在の気象条件には満足している。一方、ナイジェリアとカメルーンでは豪雨があり、農園への移動アクセスを一時期妨げており、この雨により一部では多くの作物の病気を引き起こした。

10月11～17日までの1週間の西アフリカの降水量 \*地図の出典：aWhere。



## カメルーンの雨

ヤウンデの北にあるヌトゥイのカカオ生産者は、この週の間雨がさらに激しくなり、ブックポッド病が蔓延したと述べた。ムバムとキム地域でのカカオの収穫などは今週、豪雨のために中止され、また農園地域からカカオ豆を売る為の市場への移動をすることが全くできなかつたと説明した。

## ナイジェリアの洪水

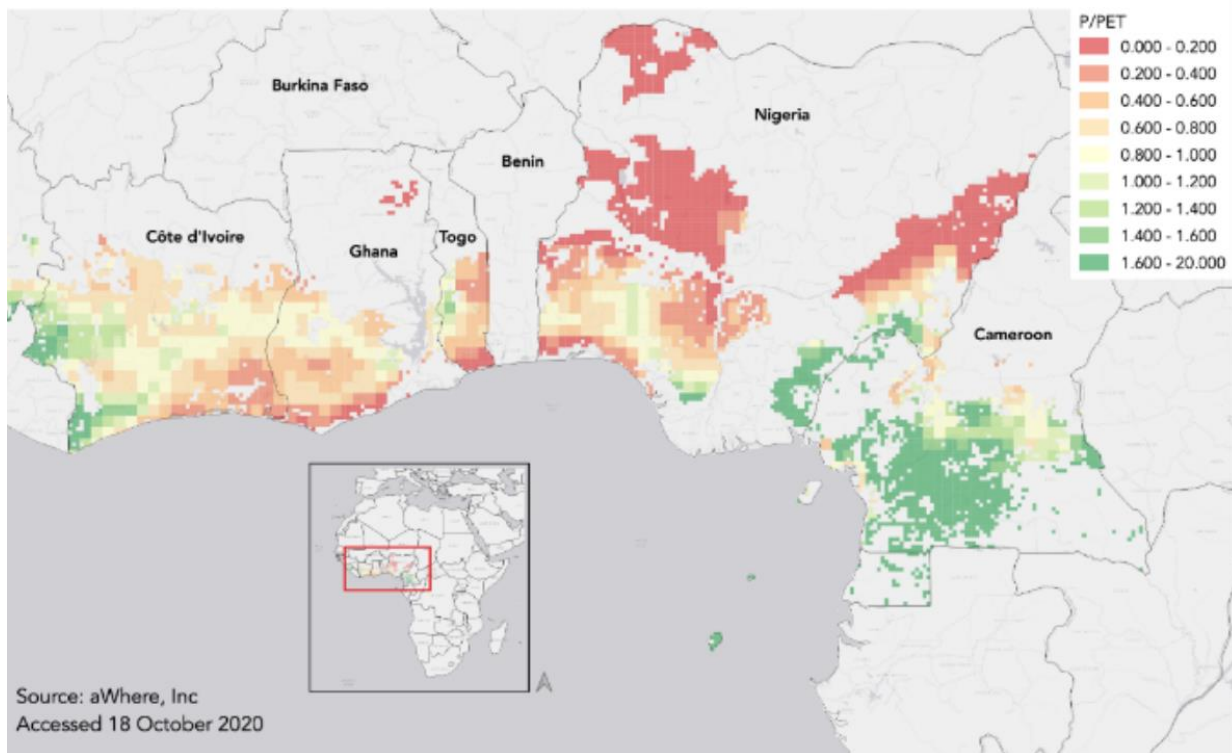
収穫は始まったが、多くの生産者はトラックでカカオ農園地域にアクセスするのが難しいと感じており、物資を輸送するためにトラックでは不可能で、現在はオートバイに頼るように促していると、南東のイコム近くの生産者は言った。ここ数ヶ月の洪水の後、相変わらず近辺の道路は泥だらけで滑りやすいと嘆いた。

### Weather trends in West African Cocoa Growing Regions

#### Precipitation over Potential Evapotranspiration (P/PET)

Forecast: 18 - 24 October 2020

aWhere



\*P / PET は、降水量を地域の蒸発需要の比率として示しています。1未満の比率は、期間中の水分不足を示し、数値が低いほど、作物へのストレスが大きくなります。地図の引用《aWhere》

## 2. 先物ブローカーマレックススペクトロンは20/21年に7.6万トンのカカオ豆余剰予測(10/21)

これは、9月30日に終了したシーズンの23,000トンの黒字に続くもので、ロンドンを拠点とする先物商品ブローカーのマレックススペクトロンは、この度発行した報告書で述べている。報告書での要点は下記の通り。

- 西アフリカの通常天候よりも乾燥していることもあり、需給バランスじゃ3か月前の予測よりもタイトな予測
- 第3四半期需要は世界的に市場の最悪の懸念よりも良好であった
- 世界のカカオ生産量予測は依然として過去最高の480万トンで変わらない。
- ラニーニャ効果が予想どおりに現れた場合、シーズン後半の生産数量に影響を与える懸念がある。

- 需要をさらに抑制する恐れのある Covid-19 の今後の可能性、生産数量に影響を与える懸念のラニーニャ現象、価格の大幅な上昇要因であるコートジボワールとガーナの生産者の LID 制度の組み合わせは、20/21 年シーズンのカカオ豆の需給バランスがここからさらに余剰になる可能性が高いことを示している。

### 3. コートジボワールの輸出業者が価格論争でココアの購入を停止(10/18)

この件に詳しい 2 人の関係者によると、国内最大の輸出業者は、カカオの買い付けと購入をプレミアム価格の同意が出来ないと現在争っており、少なくとも 1 か月間は購入を停止している。

世界最大のカカオ生産国で、多くの数量を購入する国際的な荷主のコンソーシアムである Gepex グループは、コロナウイルスのパンデミックの中で主要なチョコレート需要が鈍化しているため、カカオ豆の価格も割引を受けるべきであると主張しています。

Gepex グループのメンバーは、コートジボワールの品質に支払われるプレミアム（先物相場の価格に追加して支払われる）を 1 トンあたり 20 から 50 英国ポンドを支払うことを提案している。これは、現在の相場とされている 1 トンあたり 70~100 英国ポンドからの割引を主張している価格となる。今年から、この品質プレミアムとは別に LID プレミアムとして 400 米ドルが価格に追加される。よってカカオ豆の価格は下記の式で計算される。

**先物価格（ロンドン市場）+品質プレミアム（産地、時期により変動）+LID プレミアム(固定 400 米ドル)**

Gepex のメンバーは、今月からスタートしたメインクroppでまだ販売されていない今後の販売分数量に関しては業界の規制当局である Le Conseil du Cafe-Cacao（以下 CCC）から提示されているプレミアムを支払う事を拒否している。CCC は、現在今シーズンのメインクropp期間の 6 か月間で収穫予測される 170 万トンのうち 145 万トン分を既に販売しており、売り残し分は 25 万トン程度あると見られている。

西アフリカの大統領選挙に関する不確実性が価格を支えているため、COVID 下のパンデミックにもかかわらず、今年はこれまでココア先物価格は比較的堅調に推移している。それでも、チョコレートの主要原料であるココアバターの価格は、チョコレートの需要の低下を受けて、一時 17%以上の下落もあり先行きは不透明である。

シーズンが始まる前に行われたブルームバーグ社の調査では、4 年ぶりの高水準である 20 万トンの過剰供給が予測され、金融グループのシティの予測では、30 万トンの余剰が予測されており、余剰になる事は間違いない線であるが、その余剰数量がどれほどになるかが議論されている。

### 4. カメルーンの週平均ココアファームゲート価格が 3%下落(10/21)

カメルーンの全国ココアコーヒー生産者協会から受け取った週更新の農家出荷価格(Farm Gate Price)によると、価格は 1 週間前の 926CFA フラン/kg (USD1.666) から 10 月 20 日までの 1 週間で 898CFA フラン/kg (1.616) に下落しました。地域のファームゲート料金の表は、CFA フラン/kg での価格とともに続きます。

- クンバ南西部 : 910
- 南西部、マンフェ : 900
- 沿岸 : 900
- センター : 900
- 南 : 880

## 5. コートジボワールの10月12-18日の週のココアの到着数量は10万5,184トン(10/19)

政府筋の統計資料に詳しい人物によると、コートジボワールの農家は、先週、10万5184トンのココアを港湾倉庫に送り込んだと報告された。1年前の同じ週との比較では、前年は推定6万9864トンであり、昨年より多い数字。政府のデータによると、今年のシーズンが10月1日から始まってからの総到着数は現在まで21万8590トンで昨年は20万2061トンで昨年を上回るペースで着荷が進んでいる。

下記の数量は、コートジボワール内で、オラムインターナショナルとカーギルのユニットなど世界大手カカオ磨砕業者であり、最大の買い手の企業群の上社の6社の購入数量を示したものである。期間は10月1日から18日で購入数量の単位はトン。

会社名	購入数量 (t)
カーギル	32,660
アウトスパン (Olam)	26,525
Saco 社	25,216
Touton 社	15,453
S3C 社	13,644
その他企業	105,092
合計	218,590

## 6. ファンド勢のロンドンカカオ先物の買い越しが6週間ぶりの低水準へ (10/21)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) が今週、純買いポジションを8,822ロット減らして、純買い越し残ポジションが7週間ぶりの低水準となる5,351ロットとなったことがICE欧州先物取引所が発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで (今週で言えば) 10月20日までの取引が含まれている。

- 純買いポジションの数量は過去7週で最も弱気 (最も少ない)
- 買いポジションの総量は10月20日までで前週より5,919ロット減少して、15,704ロットとなった。買いポジションの総数量でも、過去8週で最も低い水準になった。
- 売りポジションの総量は10月20日までで、前週より2,903ロット増加して、10,353ロットとなった。売りポジションの総量は過去7週で一番高い水準。

## 7. NY市場のファンド勢も買い越しポジションは11週間ぶりの低水準に (10/20)

ニューヨークカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) の買い越しポジションが11週間ぶりの低水準になっており、純買いポジション (=Net long position) が減少してきている。今週 **8,126** ロット減少して、**11,090** ロットになった。

- 買いポジションの総量は10月20日までで前週より7,569ロット減少して、38,129ロットとなった。買いポジションの総量の少なさは、3か月 (12週) ぶりの低水準。
- 売りポジションの総量は10月20日までで前週より557ロット増加して、27,039ロットとなった。売りポジションの総量は過去4週間で一番高い水準にきている。

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)